

2018年度の遺体感染管理士認定資格養成講座の受講生を募集中。東京と京都で

全11回開催、感染予防など適切な死後ケアを学べる

有限会社 エル・プランナー

2017年10月18日 9時

第1回は2月3日に中野サンプラザで、京都での開催は6月8日の第5回が最初で全4回を予定しています。受講対象は看護師、介護士、医療・福祉専門学校職員、福祉施設職員の有資格者。参加費用は6万8500円（税込）、公衆衛生を守る重要な使命を負う遺体感染管理士の養成のための講座です。

死後ケア認定資格事業（エンゼルケア・エンゼルメイク）、遺族ケア・エンゼルケア・エンゼルメイクの講演、エンゼルケア・エンゼルメイク実業務を手掛ける有限会社 エル・プランナー（本社：東京都杉並区、代表取締役：橋本佐栄子）は、2018年遺体感染管理士認定資格養成講座の受講生を募集しています。対象は看護師、介護士、医療・福祉専門学校職員、福祉施設職員の有資格者です。参加費用は6万8500円（税込、受講料・受験料・教材費・テキスト代含む）。第1回は2018年2月3日（土）に中野サンプラザ（東京）で開催します。

▼ 2018年遺体感染管理士認定資格養成講座のご案内

L・PLANNER：http://www.lplanner.co.jp/course2/index2_2018.html



■適切な死後ケアの理論を学び、マネキンを使った実習も実施

遺体感染管理士認定資格養成講座は、標準予防策に基づき感染管理の視点から適切な死後ケアの理論を学ぶものです。認定を受けて遺体感染管理士になると、遺体に関わる者の交差感染を予防し、遺族、葬祭業者、遺体搬送業者等の公衆衛生を守る重要な使命を負います。

標準予防策の考えは「湿性の目視できる血液・体液・排泄物は、感染の可能性があるものとして取り扱う」というものです。

遺体を単にきれいにするだけのケアでは適切な死後ケアとは言えません。遺体からは医療行為（CV、注射、胃ろう、ドレーン等）や病態（出血傾向、浮腫等）によって、搬送中や帰宅後に体液の流出や出血が発生することもあります。

止まっていた医療器具抜去痕から漏れ出てくるもので、これが生体と遺体の違いです。生体は傷の回復・修復が期待できますが、遺体の傷は修復されません。適切な死後ケアを行うには、遺体の体に現れる死後の変化を知っておく必要があります。

学習内容の一つとして、当該講座以外では実習することができない遺体圧迫固定法などの死後ケアの基本となる技術を実習で学べます。また、2人で1体（受講人数により変動あり）の医療マネキン等を用いて鼻腔・口腔への詰めものの技術や、鼻腔・口腔からの血液・体液の流出の理由なども、解剖生理を交えて学びます。



■感染予防チェックリストも学習。参加は申し込み専用フォームから

講座では感染予防チェックリストについても学びます。これは医療機関から患者を死亡退院させる際に、医療従事者がご遺体の状態を記載するものです。特に記載の義務があるわけではありませんし、法的効力を有するものでもありません。

それでもこのようなチェックリストを作成するのは、わが国では英国のようにすべての遺体に死体袋が使用されていないからです。高リスク体液との接触を未然に防ぐことや、火葬場職員の安全のために死体にペースメーカーが装着されていることの申し送りなどを行っています。

それらは予防対策上、医療機関と搬送業者（主に葬祭業従事者）との連携が必要であるとの認識から作成し、提案してきました。こうしたチェックリストについても学習します。

講座のテキストは、『遺体に携わる人たちのための 感染予防対策および遺体の管理』（医事出版社、2011年改訂第1刷）です。

この書籍は、ICHG（Infection Control Hospital Group）研究会のメンバーで、エル・プランナー代表の橋本佐栄子が葬祭業従事者のために分かりやすい感染予防対策の実用書を熱望したのがきっかけで作成されました。

何回かの編集会議を経て、遺体に携わるすべての従事者（医療従事者・葬祭業従事者）が安全に業務を実施するためには、まず医療従事者による適切な死後処置の実施、次に葬祭業従事者による適切な管理の実施が不可欠であるという考えから生まれました。遺体からの感染を予防するための、わが国唯一の医学書です。

<2018年（平成30年）遺体感染管理士認定資格養成講座>

担当講師：（有）エル・プランナー代表取締役・橋本佐栄子、専務取締役・橋本友希（看護師）

お申し込み：参加申し込み専用フォームから

▼ 参加申し込み：<http://www.lplanner.co.jp/course2/form4.html>

参加費用：6万8500円（税込、受講料・受験料・教材費・テキスト代含む）

支払い方法：申し込み確認メールが届いてから2週間以内に銀行振込

キャンセル・返金：講習日8日前まではキャンセル料（1人1000円）を引いて返金。7日前からは返金不可。

日程：

第1回 2月3日（土）東京会場・中野サンプラザ

第2回 3月9日（金）東京会場・中野サンプラザ

第3回 3月10日（土）東京会場・中野サンプラザ

第4回 4月21日（土）東京会場・中野サンプラザ

第5回 6月8日（金）京都会場・エムズ烏丸御池

第6回 6月9日（土）京都会場・エムズ烏丸御池

第7回 9月7日（金）東京会場・中野サンプラザ

第8回 9月8日(土) 東京会場・中野サンプラザ

第9回 10月5日(金) 京都会場・エムズ烏丸御池

第10回 10月6日(土) 京都会場・エムズ烏丸御池

第11回 12月8日(土) 東京会場・中野サンプラザ

※すでに残り席が少なくなっている回もあります。

【東京会場】

中野サンプラザ

住所：〒164-8512 東京都中野区中野 4-1-1

アクセス：JR 中野駅北口徒歩 1 分

【京都会場】

エムズ烏丸御池 (2F 会議室)

住所：〒604-8176 京都府京都市中京区籠池町 449-1

アクセス：地下鉄烏丸線・東西線烏丸御池駅徒歩 1 分

【有限会社 エル・プランナーについて】

本社：〒168-0081 東京都杉並区宮前 2-10-42 宮前ヴィレッジ C201

代表者：代表取締役 橋本佐栄子



設立：1993 年

Tel：03-5344-9747

Fax：03-5344-9748

URL：<http://www.lplanner.co.jp/>

事業内容：

美容師・大手葬祭業社開発部勤務を経て、1993 年にご遺体の処置・死化粧を専門医行う、有限会社エル・プランナーを設立。
自然な素肌感を作り出すナチュラルメイクから、外傷を修正するカバーメイクまで。
理論と技術を備えた独自のメイクテクニックを確立。
1999 年、医師・薬剤師・看護師等で構成される、ICHG 研究会に所属。
2002 年、『遺体に携わる人たちのための感染予防対策および遺体の管理』を医事出版より出版。
メイク技術者として死化粧・遺体処置を行うほか、日本各地の病院や大型セミナー会場で、死化粧（エンゼルメイク）・死後処置（エンゼルケア）・感染予防対策・遺族ケアの講演を行う。
その他、葬儀社・看護師・介護福祉士・看護学校教職員を対象とした少人数制セミナーを社内にて開催。

- ・ 死後ケア認定資格事業（エンゼルケア・エンゼルメイク）
- ・ 遺族ケア・エンゼルケア・エンゼルメイクの講習会の実施
- ・ エンゼルケア・エンゼルメイク実業務

【本件に関するお問い合わせ先】

企業名：有限会社 エル・プランナー

担当者名：橋本 友希

TEL：0353449747

E-Mail：info@lplanner.co.jp